

■講師

窪田 努



■経歴

1965年 京都生まれ
 1990年 大阪歯科大学卒業
 1993年 クボタ歯科開業
 2013年 「Professional Dentistry2巻」共著 クインテッセンス出版
 2016年 「Digital Dentistry時代に見直したい歯冠修復治療」ザ・クインテッセンス連載
 2017年 IDSにて「MR歯科治療支援システム」を発表
 2021年 「とことんIOS」共著 クインテッセンス出版

保険診療にCT、CAD/CAM冠が導入され、デジタルを活用した治療が行えるようになってきています。金属代の高騰によりメタルからの脱却が求められ、歯冠修復治療のデジタル化が進むことは明らかとなり、今後口腔内スキャナーが保険に収載されることを見越して、多くの歯科医院で口腔内スキャナー（IOS）を導入されています。しかし、IOSを導入してもうまく使いこなせていない、CAD/CAMの修復治療もしっくりきていない歯科医院が多いようです。

それは、CAD/CAMに適した支台歯を形成できていないからです。被せてしまえば、目に触れることがない支台歯ですが、**補綴治療の良し悪しを決めるのは、支台歯です。**技工士は、歯科医師から渡される支台歯の条件以上の補綴物を作ることはできません。医院で補綴治療の品質を確保するには、支台歯形成を院内で規格化する必要があります。しかし、支台歯形成は、**一度削ると「どこをどれだけ削ったのか」が分からない**ので、常に同じ品質で形成し続けることは、かなり困難です。

本コースでは形成した支台歯をスキャンし、「削った支台歯」と「最終補綴物の歯冠形態」と「理想的な支台歯」をCAD上で重ね合わせて、どこに問題があるのかを自ら気づき学ぶことができます。問題点が分かれば、そこを修正するだけです。IOSを印象材の代わりに使っているだけでは、デジタルを使いこなしているとは言えません。メタルからCAD/CAMに移行する今だからこそ、**デジタルに合った支台歯形成を修得し、医院で支台歯形成を規格化し、真の診療のDX化を推し進めませんか？**



■日程

①	1/27 (土)	28 (日)
②	2/25 (日)	3/24 (日)
③	3/ 2 (土)	3 (日)
④	3/16 (土)	17 (日)
⑤	4/28 (日)	29 (月)
⑥	5/18 (土)	19 (日)
⑦	7/27 (土)	28 (日)
⑧	8/ 3 (土)	4 (日)

■場所

東京	ナカニシ東京セミナールーム
名古屋	かすもり・おしむら歯科
大阪	ナカニシ大阪セミナールーム
福岡	ジオメディ福岡本社
京都	STF研修室
東京	未定
東京	ナカニシ東京セミナールーム
大阪	ナカニシ大阪セミナールーム

■定員

8名
6名
8名
8名
8名
8名
8名
8名

■受講費 ¥121,000 (税込)

■購入していただくモノ

<input type="checkbox"/> 実習模型 INVICTUS (ニッシン)	¥31,900 (税込)
<input type="checkbox"/> 形成確認インデックス (ニッシン)	¥5,720 (税込)
<input type="checkbox"/> ダイヤモンドバー (日向和田)	¥14,850 (税込)

■コース内容

講義 ① IOS活用について

② デジタルに対応した支台歯形成

③ デジタルを活用した支台歯形成

実習 ① 支台歯形成 上顎1番 軸面形成

② 支台歯形成 上顎6番 咬合面形成

お申し込みは、isight.basic.course@icloud.com までお願いします。